



2007年 4月号

りっぷ ろーかる いんふおーめーしょん ペーパー
L I P (Local Information Paper) とは……

ひらかたしめんはつ ふくし きょういく ぶんか かんきょう
枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの

じょうほう けいさい ち いきみっちゃくがたじょうほうし
情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。



冬のボランティア「卒業式」♪ (6面に紹介記事)

- ✎ [自立支援コース] 枚方なぎさ高校に合格しました♪
- ✎ [2中でコンサート] 子どもたちや若者の熱い思いを聴きました♪
- ✎ [原民樹の吉林留学レポート④] 中国の少数民族・朝鮮族の若者と話をしてみた
- ✎ [日朝友好スタディーツアー2007] もうひとつのヒロシマから考える
- ✎ [連載コラム] かおりのひとりごと 「施設反対」
- ✎ [冬のボランティア] 卒業式♪
- ✎ イベント／サークル／ボランティア情報
- ✎ 編集局より／LIP配布場所／会計報告



「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先 & 発行責任者

若林利行 (わかばやしとしゆき)

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL/FAX: 072-866-0119 携帯: 090-8537-9886

郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)

枚方なぎさ高校に合格しました(^-^)

枚方なぎさ高校に合格しました！
みんなで鶴を折ってくださりありがとうございました。面接を頑張りました。
本当に応援してくれてありがとうございました。 (香奈)

娘は枚方なぎさ高校の知的障害生徒自立支援コースを受験しました。

競争率4.5倍では・・・と半ば諦めの気持ちもありました。でも皆さんの応援をパワーに変えて娘は堂々と面接を受けました。

その姿を見てこれでダメなら仕方ないと思いました。もちろん本人も精一杯頑張りましたが、皆さんからの応援メッセージと3千羽を超す折り鶴のおかげで合格できました。

本当にありがとうございました。

この知的障害生徒自立支援コースは高等学校のカリキュラムや授業内容を工夫し、知的障害のある生徒がより円滑に学べるようにするとともに、障害のあるなしにかかわらず生徒が共に高校生活を送り交友を深めていくことをめざしています。

大阪府教育委員会は、障害者や保護者・関係諸団体の強い要望を受けて、2001年から5年間「知的障害のある生徒の高等学校受入れに係る調査研究」を実施し、それを継承する形で2006年度から《自立支援推進校》に「知的障害生徒自立支援コース」を設置しました。しかし、現在推進校は11校で募集人員は2～3名。今年も平均倍率は3.54倍と大変厳しい

ものでした。

これまでたくさんの知的障害のある生徒がみんなと同じように高校へ進学したいと希望しながら涙をのんできました。その思いを背負っていると思うとプレッシャーもあるし、制度化されて間もないので苦難もあるでしょう。

でも何より娘には友達と一緒に楽しい高校生活を送ってほしいと思っています。

今後推進校が増えるように、また募集人員が増える



合格祈願の折り鶴3000羽をもらって香奈ちゃん号泣。
(2月16日の「とれぶ力フェ」にて)

ように・・・

いずれはどの高校にも知的障害生徒が受け入れられている。それが当たり前になってほしいと思います。

そのためにはこの制度や現状をたくさんの人達に知っていただいて、どんどんチャレンジしていただきたいと思います。

宮田つぐよ

3月4日(日)枚方第二中学校体育館で「トモダチ・絆・未来コンサート」が開かれました。お友達に教えてもらい、「うちは校区外だけど、行っていいの?」と聞くと、「枚二地域教育協議会の主催だから、誰でも来ていいの。すてきな音楽やるし、障害のあるお子さんも連れて来てあげてね!」そこで、小5の自閉症の息子と一緒に出かけに行きました。

午後2時過ぎに会場に到着すると、ちょうど始まるころ。とれぶりんか音楽部のピアノデュオ、Crescendo Time Loverのオープニング演奏で、子ども劇団の「セミ君の七つの夜」から最終話。「命って何だろう?」と考えさせられる熱演に続いて、よさこい部の子どもたちによる踊り。踊ってて、楽しい! て伝



二中で、「トモダチ・絆・未来 コンサート」

子どもたちや若者の熱い思いを、聴きました!

わってくるようで、とってもいい感じ。音楽大好きのうちの子は、つられて前に出てしまいました。でも、いいよ、一緒に楽しんで! とみんなの目がやさしくて、とても嬉しかったです。

子どもたちの熱演が終わると、コンサートのメイン、Crescendo Time Loverの演奏。音楽を始めて5年、JRや京阪沿線のストリートで歌って、昨年秋には全国でCDが発売されたというプロのアーティストですが、目線が低くてお話しされる内容がとってもあったかい。「車椅子でも来れる場所で、声を出しても大丈夫、そんなバリアフリーのコンサートをやりたい」と話し

ておられる通り、手話のついた「トモダチ」という歌をみんなで一緒に手話をしながら聞いたり、観客も一部参加してのコンサート。美しい歌声とダイナミックに流れるピアノ演奏にうっとりしました。休憩タイムの後には、いじめを主題とした「わたしのいもうと」という短い話を朗読で聞き、辛いそんなできごとがなくなるようにと、心から思いました。

アットホームな雰囲気であつという間に過ぎた楽しいひととき。こんな機会がまたあればいいなあと、誘ってくれたお友達に感謝です。(とよたかあきえ)

3月とは思えないほど温かい二中体育館で、素晴らしいひとときを過ごせました。

企画をした方々の思いが、すべて出ている、私は、今までこんなに感動したミニ劇、コンサートは、初めてでした。どんな高価な物より、心からの言葉や歌は、私を元気にしてくれました。

小学生の劇は、全幕の一部でしたが、もう、テレビで見ている、売れている人なんかより、全力を出している心がビンビン伝わってきました。子どもとばかりにはできないと思いました。

歌手の二人も、心で歌ってくれて、ジーンとききました。涙ばかりが、とめどもなく出てしまいました。もっと二中生にも、聞いてほしかったです。

今日の温かいのは、ここの心のあたたかさだったと思います。今、日本人に不足しているものがすべて入ったものに思いました。感動をありがとうございました。(水野)

原民樹の吉林留学レポート ④

中国でもやっと正月が終わりました。中国では農暦の正月にあたる「春節」に盛大に新年を祝うのが伝統で、今年は2月18日でした。「春節」を迎えると、ほとんどの店がお休みになり、至る所で爆竹や花火が街を賑わせます。食べ物も買えず、爆竹の音で夜も眠れない苦しい日々でした。そんな暗いスタートでしたが、留学後半戦をしっかりと充実させたいと思います。

さて、僕が留学している吉林省には朝鮮族自治州があるというをご存知でしょうか。朝鮮半島での度重なる戦火を逃



長春最大の朝鮮街、桂林路。朝鮮族の経営する商店が多く立ち並ぶ。

中国の少数民族・朝鮮族の若者と話をしてみた

れてやってきた人をきっかけに、今では200万人がそこで暮らし、中国の少数民族の1つに数えられています。少し前に、その朝鮮族の若者と話をすることがありました。その時に考えたことを今回のテーマにしたいと思います。

彼によると、中国の朝鮮族のほとんどは朝鮮学校へ行き、自分の民族の教育を受けるそうです。なので当然、母語は中国語ではなく朝鮮語だと言っていました。そして彼らは、自分が朝鮮人であるというアイデンティティーをしっかりと持っていました。この事は僕にとって驚きでした。なぜなら、同じ朝鮮人であるけれど、日本で暮らす朝鮮人（在日朝鮮人）とは状況がまるで逆だからです。

日本では朝鮮学校に通い、朝鮮語を話せる朝鮮人は圧倒的に少数です。そして日本では、彼ら彼女らに朝鮮人としてのアイデンティティーを持たせない空気があります。僕が自分のブログで朝鮮のことを話題にしたとき、ある朝鮮高校の学生さんからコメントをもらいました。「今のこの反北朝鮮政策がとられている日本の情勢の影響でしょうか、私たち朝鮮学生の中でも朝鮮人であることを恥ずかしく思ったり隠そう

とする子達がいいます」。

1910年に日本は朝鮮半島を勝手に自分たちのものにし、そこから中国まで支配を広げて、戦争に突入していきました。日本はアジアの人々を徹底的に差別し、利用しました。その時代の朝鮮人は、朝鮮語を話したり、朝鮮名を名乗ると殺されました。日本人は彼ら彼女らのアイデンティティーを無茶苦茶に破壊したのです。

今はどうでしょうか？もともと拉致事件で人気を得た安倍政権は、拉致問題をむやみやたらに煽り、「北朝鮮＝悪い！怖い！」というイメージを一生懸命広めています。それを真に受けた私たちは、本来関係のない在日朝鮮人に暴力を振ります。朝鮮学校へ通う子どもを持つ在日の女性がある集会でこう発言していました。「小学一年生の息子が学校の帰り道にカンを投げつけられ、唾を吐きかけられ、泣いて帰ってくる。私らのその苦しみがあんたらにわかるんか!!」。そして先のコメントにあるように、北朝鮮への敵対心を持った（持たされた）私たちは、在日朝鮮人に「自分が誰であるか」を言えなくさせています。それは戦争時代と何か変わったのでしょうか？当時朝鮮を侵略した兵隊と私たちは根本的に違いがあるのでしょうか？「平和」や「人権」と誰もが語る世の中で、弱い立場を強いられた（誰が強いのか）人々をさらにひどい状況へ追いやる「見えない暴力」を、私たちは知らず知らずのうちに振っているかもしれません。そんな重い現実が中国からはよく見えます。

✍ 原民樹

中国へ1年間留学中の原民樹くんからの4回目のレポートです。原くんのブログ↓もお勧めです。

“-30℃の世界で頭を冷やす 吉林の生活にもの思ふ”
http://blog.livedoor.jp/tamy_icpwip/



朝鮮街では看板が朝鮮語で書かれている店も多い。

日朝友好スタディーツアー2007 ~もうひとつのヒロシマから考える~

日朝友好関西学生の会がはじめて行ったスタディーツアー。主催者の山根さんに、レポートしてもらいました。
(LIP編集部)



地下工場跡地への入り口



地下工場跡地の中

2007年2月22日～24日の2泊3日で、「日朝友好関西学生の会」初めてのスタディーツアーを開催しました。行き先は広島県。広島と言えば「被爆都市」及び「平和都市」というイメージを真っ先に思い浮かべるとします。しかし、その言葉では語りつくせないもう一つのヒロシマの顔があります。それは、アメリカの原爆投下によって被害にあった在日朝鮮人被爆者や、朝鮮人強制労働の跡地、今もなお継続している「軍事都市」の存在という「加害都市」の側面です。この「被害」と「加害」の歴史の両面を観ることによって、その歴史から現状を認識し直し、真の平和とは何か、真の友好とは何か、を日本人学生と在日朝鮮人学生で模索し合いました。

1日目は「広島平和記念資料館」及び平和公園内、そして広島城周辺にある大本営の跡地や護国神社などをフィールドワークしました。講師には在日本朝鮮人被爆者連絡協議会の李実根さんをお迎えし、貴重な体験談をお聴きました。資料館が核の絶対悪と被害の側面を強調する一方で、李実根さんの存在や、広島がいかに「軍事都市」であったか、またその歴史を賛美するかのような慰霊碑の数々は、ヒロシマの矛盾を物語っていました。2日目は呉市にある地下工場の跡地や、海上自衛隊の基地をフィールドワークしました。地下工場の跡地は、かつてその建設に朝鮮人が動員、連行され過酷な労働を強いられた場所です。その入り口を

潜った瞬間、リアルに当時の情景が浮かんでくるかのようなでした。地下工場跡地の横には、かつての海軍の基地が、海上自衛隊の基地として引き継がれています。特に最近の情勢によって、「日の丸」を掲げた戦艦が増強されている様子を、この目で確認してきました。「平和都市」のイメージを打ち出すがゆえに、もう一つのヒロシマの姿を隠蔽させてしまっているということではないでしょうか。

これらのフィールドワークを通して、グループディスカッションを毎晩行いました。日本人学生は、初めて知る事実も多く、思いを整理しきれない、と戸惑っている人が多くいました。一方で、在日朝鮮人学生は怒りや憤りを感じ、自身もその歴史の中の一人なのだ、と当事者として捉えています。同じ所を観て歩き、聞いたとしても、感じることはお互いに格差がありました。それは、ディスカッションを通して浮き彫りになり、お互いの立場性の違いが明確化されました。このツアーで、それ

ぞれの立場が違うということ、だからこそ課題も違うということを確認し合うことができたことは、大きな成果だったと思います。真の友好とは、目の前にある壁は何なのかを考え、互いが置かれている立場に向き合うこと、まずそれが成し得てからこそ始まるのではないかと改めて実感しました。それぞれの課題を持って帰られる、そんなツアーになりました。

山根実紀 (龍谷大学)



地下工場跡の隣には、自衛隊基地が...

かおりのひとりごと

かおりのひとりごと

野添かおり 枚方市在住。神経難病脊髄小脳変性症により、17才のころより車椅子生活。大学時代詩人野呂先生に師事。現在主にエッセイを書く。

「施設反対」

辛い過去がある。
そこに養護学校があるから。入所施設があるから。

障害をもった私は、「そこに入るのが普通」とされかけていた。

「人間」としてではなく、「障害者」として生きることを強要されかけていた。

当時こどもであった私は、「私も人間！」と強く訴えることもできず、ともすれば、そんな大人の言うなりにされていたかもしれない。

「あってもいいじゃないか。」あなたは無責任にもそう言うかもしれない。それが「存在する」からこそ、「偏見」という思いが生まれることも考えず。

こどもをはじめとする「弱者」の思いは、そんな「強者」の思いにひねり潰されてしまうもの。

それを知っているからこそ、私は声をあげる。

「強者がその立場を確立してしまうような施設をつくらないで」と。

「冬のボランティア～卒業式～」

「ボランティア」はボランティアをしたことがない方でも安心して参加することのできる、ボランティア体験プログラムです(北河内ボランティアセンター主催)。毎年、小1から小6までの知的障がいのある子どもさんに協力してもらって開催しています。今回は過去のボランティアに参加した、小学校6年生の卒業式を行いました。村井 美穂さんにレポートを書いてもらいました。

今回私は夏のボランティアに引き続き企画スタッフをやらせてもらいました。

リーダーを決める時にまさか自分がリーダーになるとは思っていなかったの、リーダーに決まった時は正直皆の意見をまとめれるかどうか戸惑いました。しかし、他のスタッフと話し合いをしているうちにそういった不安は忘れていました。自分がまとめれなくて迷惑をかけたりもしましたが、いいスタッフと企画ができ、本当によかったです。

今回の冬のボランティアは6年生の卒業式と、何か今までにやったことのない事をしてみようということで、くずはモールでのお買い物の企画を皆で考えました。

くずはモールでのお買い物は子ども達の安全を考えて、スタッフ全員でどうしたらいいか、行ってはいけない所や危ない場所などを各自下見に行き、慎重に話し合いを進めました。お買い物は初めてということもあり、お母さん方の心配もあるかと思いましたが、企画内容を理解していただき、ホッとしました。今回の冬のボランティアはきっちり、きっちりつめすぎずにラフにやろうというのがスタッフのテーマ



だったので、夏のボランティアに比べ会議の回数も少なく、内容もつめていなかったの、多少の不安はありましたが、本番で私達が企画したプログラムに笑顔で参加してくれている子供たちをみて、ホッとしました。

卒業証書授与や、卒業アルバムはお母さん方も皆喜んでくれて大成功でした。

また、くずはモールへのお買い物も皆に楽しんでもらえたので本当によかったです。

リーダーという事で、司会、進行をしましたが、うまくまとめられなかったり、タイムスケジュールの時間を勘違いしていたことが反省点です。

今回の経験を通じて、人に喜んでもらえる嬉しさを改めて感じるとともに、この経験をこれからに生かしていきたいと感じました。

また、こういったボランティアに興味のある人にどんどん参加してもらいたいです。

村井美穂

イベント・サークル情報

【生命みつめて「映画会 マザーテレサ」】

- 4月14日(土) 14:00~(受付13:30~)
 - ラポールひらかた4F大研修室
 - 参加協力金:800円 高校生以下500円
- マザーテレサはマケドニアに生まれ、修道女の道を選び、派遣されたインドで孤児・病気の人・路上で死んでいく人達に仕えて生涯を送りました(1997年没)。その働きは1979年にノーベル平和賞を授けられています。受賞時のマザーの言葉は「わたしは受賞に値しないが、世界の最も貧しい人々に代わって賞を受けました」映画は、その生涯をオリビア・ハッセー主演で2003年に製作したものです。

※ボランティア募集(映画無料付き)

会場作りのため中・高校生10名
問合せ・申込 チケット・ボランティア共に
TEL&FAX 072-859-3004【アジア協会 吉田】

劇団タルオルム公演 マダン劇「4. 24の風」

朝鮮学校がなぜ創られ、なぜ必要?歴史や現状を知ること、より身近な問題として感じてもらいたい。

■日時:2007年4月30日(休日)

*完全入替制

第1回公演:OPEN-13:00 START-13:30

第2回公演:OPEN-17:30 START-18:00

■場所:京都 ひと・まち交流館 大会議室

■入場料 前売:一般2,000/学生1,500/高校生以下1,000
(当日売りは、いずれも+500円)

■内容:

●劇団タルオルムによるマダン劇「4. 24(サイサ)の風」の上演(70分)

あらすじ…阪神教育闘争の記念碑の前で、黄ばんだ葉書を手にした朝鮮高校生—ソニ。日付は1948年、あて先はマカーサー。約60年前に日本全国の子供たちが書いたものだった…。葉書を読み上げたソニが目にしたのは、差別と貧困のなかで子どもたちを育て、民族教育を守り抜こうとした在日1世の姿だった。劇団タルオルムのプロフィール…在日三世が中心となり結成。日本社会、在日同胞社会にメッセージを投げかける作品を中心に、同胞の大多数を占める故郷—済州島の民謡や楽器の演奏なども取り入れた作品にも力を注いでいる。

HP: <http://www.office-wink.com/tal-orum/index.html>

●歴史解説付:金慶海氏(在日朝鮮人2世。歴史愛好家。兵庫朝鮮関係研究会会員。)

●朝鮮学校/パネル展実行委員会による「朝鮮学校—過去・現在・未来—」展

問合せ(チケット予約):「FACE project」

face_project2007@yahoo.co.jp(担当:山根)

080-3107-6038

【思春期を語る会】

思春期がわかると、仲間や子どもへの理解が深まります。思春期を語ってより良い人間関係とつながりを手にいれましょう。

場所:メセナ3階 諸活動室

日時:木曜日 10:00~12:30 4/19 5/17 6/21 7/19

参加費:500

ファシリテーター 出口和世/コーディネーター 久米素子

連絡 090-9702-8163 E-mail: motokofl@ezweb.ne.jp

ボランティア募集

■障害児の遠足の付き添い

4月14日(土) 9時半~16時頃

障害をもつ子ども達の親子遠足に同行し一緒に楽しく過ごして下さる方を。

内容:遊具などで遊ぶ子ども達の安全をみて頂きます

行き先:京都府立山城運動公園 太陽が丘

集合場所:寝屋川市立総合センター内。

交通費:支給(集合場所迄の往復交通費)

食事:支給(お弁当)

締切:4月12日(木)

*ボランティア初心者の方でも、安心して参加できます。

■障害をもつ子どもの付き添い

枚方市に住む知的障害をもつ男の子が学校から自宅に帰る際の付き添いと、母親が帰ってくる迄一緒に過ごして下さい方を。

日時:月~金までの週1回程度。15時半~18時頃迄(17時半迄でも可)

交通費:支給。

いずれもボランティア初心者の方でも、安心して参加できます。

問い合わせ先:北河内ボランティアセンター

Tel&Fax 072-848-4166 ☐ npo-kvc@kit.hi-ho.ne.jp

■「はじめての手話」受講者募集!■

初心者向けの手話講座開講。

5月17日~7月19日までの10回連続。

毎週木曜午後2時~4時。

定員:30名(申込み先着順)。

会場:枚方市立教育文化センター(最寄り京阪御殿山駅)

参加費:4000円

問合せ/申込み:北河内ボランティアセンター

072(848)4166 E-mail: npo-kvc@kit.hi-ho.ne.jp

【ひらかた九条の会 イベント】

日時:2007年4月28日(土)

映画「戦争をしない国 日本」

場所:メセナ枚方2F多目的ホール

時間:14:30、19:10

なお、伊藤塾の伊藤真先生の記念講演を18:00から行います。

戦争をしない国日本のHP <http://www.filmkenpo.net/>

伊藤塾のHP <http://www.itojuku.co.jp/>

日時:2007年8月4日(土)

ひらかた九条の会、夏のイベント

九条の会よびかけ人 澤地久枝さん講演

他 詳細未定

場所:枚方市民会館大ホール

実行委員を募集しています。ご協力いただける方、興味をお持ちの方は主催者までご連絡ください。

主催:ひらかた九条の会

連絡先:事務局 072-805-5252 京阪総合会計事務所 疋田まで

ＬＩＰは、次の場所に置かせていただいています。

枚方市

- ★ 各公民館・図書館・南部市民センター・メセナひらかた・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [招提南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティーカフェ ラ テール [西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 リリあん [長尾元町 6-39-15 lilian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シャルム [南楠葉 1丁目 2-16 くずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶・軽食 香番館 [藤阪西町 3-5 072-855-0186]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町 北村味噌向かい]
- ★ たこやき・お好み けんちゃん [大峰南町 7-1 スーパーワカバ内 072-859-4155]
- ★ 街かどデパート 藤阪愛逢 [藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 第2明日花作業所 [西禁野 1-3-19 072-847-6070]
- ★ 居酒屋 以呂波 [宮之阪 3丁目 12-1]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアサロンかわむら [長尾東町 3-1-4 072-859-1601 (予約優先)]
- ★ 洋裁付属品と手芸小物の店 みなよし [香里ヶ丘 3丁目 B 6 5 072-854-0756]
- ★ 喫茶&アンティークショップ Squirrel (スクワラル) [宗谷 1-1-1 072-859-2475]
- ★ 割烹 千鳥 [岡東町 12-13 ひらかたさんばらざ B 1 F 072-843-8114]
- ★ 学校法人 東洋学園 近畿情報高等専修学校 [渚西 1丁目 43-1 072-840-5800]
- ★ WAVE 3 4 (ボウリング場) [田口 4-1 1-8 072-848-0450]
- ★ ヘアスタジオおばば [南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社会福祉協議会 [南楠葉 1-18-3 田中ハイツ 1階 072-856-9177]
- ★ 枚方市役所 (市民活動課・環境総務課) [大垣内町 2丁目 1番 20号 072-841-1221]
- ★ (財)枚方市文化国際財団 [岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 食育ステーションまきの [枚野本町 2丁目 19-2 072-397-2111]
- ★ 社会福祉法人 心愛 心学塾作業所 [大峰元町 1丁目 2 1-5 072-859-9194]
- ★ 紅茶専門店 V I E [南楠葉 1-1-3 4 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャソース [枚野下島町 14-2 2 072-809-7676]
- ★ カフェレストラン Hill's Living Cafe [津田山手 2-10-1 サイエンスコア内 072-858-2195]
- ★ 珈琲館・藤阪駅前店 [藤阪南町 2-3-5 072-809-4408]
- ★ ポパイ商店 [山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [星丘 1-20-8 072-805-4373]
- ★ サタデーナイトコンサート 毎月第一土曜日 19時〜ラポールひらかた 4階大研修室にて
- ★ クッキー工房おれんじはうす [交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 全労済大阪府本部 共済ショップ枚方 [大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F 072-804-5550]

寝屋川市

- ★ 寝屋川市立市民活動センター
- ★ フレッシュベーカーリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ 和菓子の店 香里園ちとせ [寝屋川市香里本通町 10-13 072-831-0832]
- ★ 寝屋川市立ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店 1F 072-835-3335]

交野市

- ★ ヘアサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024 (予約優先)]
- ★ たこやき屋 中角 [交野市倉治 3丁目 52-1 072-891-4022]
- ★ レストラン ジュリア [交野市私部 3丁目 11-3-2 072-891-2288]
- ★ NPO法人 ゆいむ (結夢) [交野市私部 7丁目 12-58 072-810-7880]
- ★ 作業所クローバー [交野市郡津 5丁目 9-3 072-894-4822]
- ★ えんであら村作業所 [交野市天野が原町 2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20]

そのほか

- ★ 高槻シネマルート 170 [高槻市春日町 15-16 072-673-1709]
- ★ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター [京都市伏見区塚本町深草 67 075-645-2047]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れつつ [綴喜郡宇治田原町費田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ 特定非営利活動法人 NGO モニティ [彦根市京町 3-5-41 <http://ameblo.jp/monite/>]
- ★ 福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター [福山市三吉南 2-11-22 084-928-1346]

New!

【広告】

居酒屋 以呂波

宮之阪3丁目 12-1

応援ありがとうございます！！

LIP応援団

岡山 茂彦様

LIP会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
57098	前号から繰り越し
4000	縮刷版2006 8冊
2000	応援団 1口
▲800	3月号郵送
▲2580	3月号用紙
▲1660	3月号印刷
▲766	A4封筒
57292	計 (次号へ繰り越し)

置かせていただける場所を募集しています。

第10回記念 ☆テーマは元気と勇氣☆

とれぷりんがサタデーナイトコンサート

■日時 4月7日 (土)

第1部: 15:30~17:30 (15:00開場)

第2部: 19:00~21:00 (18:30開場)

■場所: ラポールひらかた 4階大研修室

■参加費

大人 500円 学生 300円 中学生以下 100円

■出演

第1部: 西谷優/smile/PA-lette/とれぷりんか
子ども劇団

第2部: 酒粕/ダル磨/Crescendo Time Lover

■問い合わせ 090-4289-5317 (中川)

お誘いあわせの上、ぜひお越しください♪

はみ出しイベント情報
(7面から続く)

◎ 好評連載中の「かおりのひとりごと」を本にしたい！という計画が進行中です。次号には、詳細を公表できる予定です。乞うご期待♪

◎ LIPは市民が書き、市民が読む情報紙です。記事の感想や、伝えたいこと、書きたいこと、宣伝したいこと。どんどん、編集局までお寄せください。

◎ LIP応援団や、掲載広告も募集しています。お問い合わせください。
[LIP編集局]